

学校教育目標	夢 創造 愛 ~一生懸命はかっこいい~			
	<ul style="list-style-type: none"> ・喜びを感じながら学びを探究する心の育成 ・自他の生命を尊重する心の育成 ・自ら考え行動する力の育成 ・未来を切り拓く力の育成 			
学校概要	創立 46 周年	学校長 竹山 昭子	副校長 天辰 庸介	2 学期制
	児童生徒数: 309 人	主な関係校: 日限山小学校・南舞岡小学校		
		一般学級: 9		個別支援学級: 3

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	日限山中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
問題解決能力 自分づくりに関する力	日限山中学校 日限山小学校 南舞岡小学校	<p>探究する心を醸成して、横浜の未来を担う豊かな人間性と創造性を備えた子供を育てます。 ~知りたいと思う気持ちを大切に、分かったという喜びに繋がります。 分かったという喜びを重ねて、探究する心を育てます。~</p> <p>○児童生徒交流日には6年生が中学生の授業を参観します。 ○横浜こども会議ではテーマについて児童生徒で考える機会を作ります。 ○6年生を対象に授業体験・部活動体験を実施し、中学校の様子を知る機会とします。 ○教職員研修会では、9年間で育てる子ども像について考える研修を重ねます。</p>

中期取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して生徒の資質・能力を育成します。 ・学校行事などを通じて多様性を尊重し、仲間と協働しながらコミュニケーション力を育み、社会性を向上させます。 ・個に応じた指導・支援を大切に、特別支援教育を充実させます。 ・「子どもの社会的スキルよこはまプログラム」を活用し、あたたかな学級・学校づくりを推進します。 ・小中連携や地域との連携・協働することで社会に貢献する力を育みます。
--------	---

重点取組分野		具体的取組
知	学習指導	①定期的な授業研究や授業アンケートを実施し、授業力の向上を図る。 ②教科教室や放課後学習スペースの活用で、充実した学習環境を整える。 ③ICT機器の活用で個別最適な学びや協働的学びのできる授業づくりを推進する。
担当	学習指導部	
徳	人権教育	①「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の活用を通して、自己肯定感、有用感を高められるような道徳教育の充実を図り、自分だけでなく、周囲の人の人権を大切にできる指導を行う。 ②学年ごとにテーマを決め、ローテーション道徳を実施し、様々な意見を交換する機会を作る。 ③講師による講演会を開き、生徒の人権感覚を高められる指導を行う。
担当	学習指導部	
体	健康教育	①HGRスポーツ大会や体力測定週間を設けることで、生徒が自ら健康に関して理解を深め進んでスポーツに取り組める環境を整える。 ②昼食時の放送で、その日の給食献立に使用されている食材や料理についての内容を伝える。また、1年生対象に食育の講演会を区の福祉保健課に依頼し、行うことで食育の推進する。
担当	体育実行委員会・保健安全指導部	
公開	自分づくり教育 (キャリア教育)	①社会的・職業的自立に向けた自分づくり教育(キャリア教育)を学年に応じて段階的に行う。 ②地域と連携を図り、職業体験や職業講話を通して、職業観の育成を図る。 ③自らのキャリア形成について、生徒と保護者が一緒に考え参加する取組を行う。
担当	特活指導部	
いじめへの対応		①いじめ事案に対して、「学校いじめ防止対策委員会」が中心となって組織的に取り組む。いじめの兆候や懸念、訴えがあった場合、一部の教職員で抱え込むことなく、この組織が中心となって判断や対応を行う。 ②いじめ根絶に向けて、生徒一人ひとりがいじめを自らの課題としてとらえ、主体的に問題を解決できる能力を身に着ける取り組みを行う。
担当	いじめ防止対策委員会	
人材育成・ 組織運営(働き方)		①働き方改革を継続・推進し、部活動の定期的な休息日の設定や留守番電話の活用等、教職員が健康的に校務に取り組めるようにする。 ②メンターチームを組織し、メンター会議の設置を行い、ミドルリーダーを中心に若手教職員の育成を図る。
担当	教育課程委員会	
特別支援教育		①個別支援級の授業応援に全ての教員が係ることで、特別支援教育の理解を進める。 ②特別支援コーディネーターを中心に、定期的な情報共有を行うと共に、外部講師による研修会も実施する。
担当	特別支援委員会	
地域学校 協働活動		①学校・地域コーディネーターが運営する地域学校協働本部と連携し、放課後学び場事業の活性化を図る。 ②地域との連携で、花植え活動や草刈りなどの環境整備を年間を通して計画的に行う。 ③自分づくり教育の一環として行う職業講話や職業体験の連携先企業の充実を図る。
担当	生徒指導部	
情報教育 GIGAスクール構想		①ICT機器を用いた学習形態の研究を深め、教員の授業力向上を図る。 ②個に応じた指導の工夫のために一人1台端末を使って教科等の主体的な学びにつなげる。また、その成果を職員で共有・精査し、より良いICT活動につなげる。
担当	GIGA特別チーム	
担当		